

科目名	看護実践基盤学Ⅵ(看護過程)			ナンバリング	PEB132	授業形態	演習
対象学年	2 年	開講時期	前期	科目分類	必修	単位数	2 単位
代表教員	大堀昇	担当教員	○大堀昇、木部美知子、矢澤香代子				

授業の概要	看護活動が科学的な方法に基づいて行われるようにするため、事例を展開してその記録を作り、統合力を学修する。具体的には、事例を用いて情報収集、アセスメント、看護計画、評価について学修し、必要な論理的思考と構成の技術を身につけることを学修する。						
到達目標	1. 看護過程の構成要素とそのプロセスが説明できる。 2. 看護過程を用いることの意義が説明できる。 3. アセスメントの情報収集と情報分析について説明 できる。 4. 看護問題の明確化について説明できる。 5. 解決目標、看護計画の立案について説明できる。 6. 実施記録および実施後の評価について説明できる。 7. 事例をもとに情報収集から計画の立案までを記述できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	予習・復習には、テキスト、参考図書に限らず、関連する図書・資料を広く活用しましょう。 2 年前期までに学んだ知識・技術を十分に活用してください。						
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
	○	2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	○	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
		4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 看護過程の構成要素とそのプロセスが説明できる。 2. 看護過程を用いることの意義が説明できる。 3. アセスメントの情報収集と情報分析について説明 できる。 4. 看護問題の明確化について説明できる。 5. 解決目標、看護計画の立案について説明できる。 6. 実施記録および実施後の評価について説明できる。 7. 事例をもとに情報収集から計画の立案までを記述できる。	1. 看護過程の構成要素とそのプロセスについて留意点を踏まえて説明できる。 2. 看護過程を用いることの意義が説明できる。 3. 事例に対してクリティカルシンキングに基づくアセスメントが記述できる。 4. 事例をもとに看護問題を明確化できる。 5. 事例をもとに解決目標、看護計画の立案ができる。 6. 実施記録および実施後の評価について留意点を踏まえて説明できる。 7. 事例をもとに情報収集、情報分析、看護計画の立案が一貫性をもって記述できる。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					60%
小テスト・授業内レポート	○	○					20%
宿題・授業外レポート	○	○	○	○	○		20%
授業態度・授業への参加			○	○	○		評価に加えず

課題、評価のフィードバック	事前学修内容、授業中の課題学修内容、発表等のパフォーマンス、発表内容の評価については、授業中にフィードバックを行う。
---------------	--

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	看護学における方法論として看護過程の意義と位置づけ、展開に必要な理論的基盤	1. 看護学における看護過程の位置づけ、看護過程の意義 2. 歴史的な変遷を踏まえた看護過程と看護理論の関係 3. 看護過程の構成要素とプロセス 4. 看護過程の展開に必要な能力(クリティカルシンキング)	講義
	第2回	一般的な看護過程の展開①	1. 問題解決過程を用いた看護過程のプロセス 2. ゴードンの11の健康的機能パターンを組み用いた看護過程のプロセス 3. アセスメント	講義
	第3回	一般的な看護過程の展開②	1. アセスメント(続き) 2. 看護問題の明確化 3. 解決目標、看護計画の立案	講義
	第4回	一般的な看護過程の展開③	1. 解決目標、看護計画の立案(続き) 2. 看護援助の実施と記録 3. 成果の評価、フィードバック	講義
	第5回	事例を用いた看護過程の展開① アセスメント	1. 情報の収集とは 2. アセスメントの枠組みと目的 3. 情報収集の方法:情報源、収集の手段、時期、種類 4. 事例を用いたアセスメントの演習	講義・演習
	第6回	事例を用いた看護過程の展開① アセスメント	5. 事例を用いたアセスメントの演習	演習
	第7回	事例を用いた看護過程の展開② 看護問題の明確化	1. 看護問題とは 2. 看護問題の種類と表現方法 3. 優先順位の考え方 4. 事例を用いた看護問題の明確化の演習	講義・演習
	第8回	事例を用いた看護過程の展開② 看護問題の明確化	5. 事例を用いた看護問題の明確化の演習	講義・演習
	第9回	事例を用いた看護過程の展開③ 看護計画の立案	1. 看護計画とは 2. 看護計画の構成要素 3. 看護計画の立案時の留意点 4. 事例を用いた看護計画立案の演習	講義・演習
	第10回	事例を用いた看護過程の展開③ 看護計画の立案	5. 事例を用いた看護計画立案の演習	演習
	第11回	事例を用いた看護過程の展開④ 看護援助の実施と記録	1. 臨床判断とは 2. 看護援助の実施と記録 3. 事例を用いた実施記録の演習	講義・演習
	第12回	事例を用いた看護過程の展開④ 看護援助の実施と記録	4. 事例を用いた実施記録の演習	演習
	第13回	事例を用いた看護過程の展開⑤ 評価	1. 評価とは 2. 事例を用いた評価の演習	講義・演習
	第14回	事例を用いた看護過程の展開⑥ 看護要約	1. 看護要約とは 2. 記載方法	講義・演習
	第15回	健康段階を軸とした看護過程の展開1(事例)①	1. 健康段階を軸とした看護過程とは 2. 一般的な看護過程と健康段階を軸とした看護過程の相違 3. アセスメント、看護問題の明確化の解説	講義
	試験	なし		

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第16回	健康段階を軸とした看護過程の展開1（事例）②	1. アセスメント、看護問題の明確化の演習	演習
	第17回	健康段階を軸とした看護過程の展開1（事例）③	1. アセスメント、看護問題の明確化の演習（発表）	演習
	第18回	健康段階を軸とした看護過程の展開1（事例）④	1. アセスメント、看護問題の明確化の演習（続き） 2. 解決目標、看護計画の立案の解説 3. 解決目標、看護計画の立案の演習	講義・演習
	第19回	健康段階を軸とした看護過程の展開1（事例）⑤	1. 解決目標、看護計画の立案の演習（続き）	演習
	第20回	健康段階を軸とした看護過程の展開1（事例）⑥	1. 解決目標、看護計画の立案の演習（続き）	演習
	第21回	健康段階を軸とした看護過程の展開1（事例）⑦	1. 解決目標、看護計画の立案の演習（発表）	演習
	第22回	健康段階を軸とした看護過程の展開1（事例）⑧	1. 解決目標、看護計画の立案の演習（続き） 2. 看護援助の実施と記録の解説 3. 看護援助の実施と記録の演習	講義・演習
	第23回	健康段階を軸とした看護過程の展開1（事例）⑨	1. 看護援助の実施と記録の演習（続き）	演習
	第24回	健康段階を軸とした看護過程の展開1（事例）⑩	1. 評価の解説 2. 評価の演習	講義・演習
	第25回	健康段階を軸とした看護過程の展開2（事例）①	1. 事例についてのアセスメント、看護問題の明確化の演習	演習
	第26回	健康段階を軸とした看護過程の展開2（事例）②	1. 事例についてのアセスメント、看護問題の明確化の演習（続き）	演習
	第27回	健康段階を軸とした看護過程の展開2（事例）③	1. 事例についての看護計画立案の演習	演習
	第28回	健康段階を軸とした看護過程の展開2（事例）④	1. 事例についての看護計画立案の演習（続き）	演習
	第29回	健康段階を軸とした看護過程の展開2（事例）⑤	1. 事例についてのアセスメントから看護計画立案の発表	演習
	第30回	健康段階を軸とした看護過程の展開2（事例）⑥ まとめ	1. 事例についてのアセスメントから看護計画立案の発表 まとめ	講義・演習
	試験	授業への参加状況、課題提出状況 および 記載 内容等 40 %、定期試験（筆記）60 %を総合して評価します。		
授業の進め方		授業は、問題発見型探究学習（Inquiry I based Learning :IBL）により展開し、学生がグループ内、およびグループ間の討議に主体的に参加することによって、対象への適切な看護援助のプロセスを理解することを目指します。		
授業外学習の指示		1. 看護の本質についての考え方の整理しておく。 2. 看護における看護理論の意味、理論家の考え方を整理しておく。 3. できれば参考図書に目をおしてほしい。授業でわからないことは積極的に取り組んで解決する。 （授業外学習時間： 毎週 120 分）		

教科書	・松尾ミヨ子, 志自岐康城生弘美編: ナーシンググラフィカ基礎看護学 2017 ヘルスアセスメント, メディカ出版 2017
参考書	必要時、授業内で指示します。
参考URLなど	必要時、授業内で指示します。
その他	予習(教科書・資料)と復習(レポートは適宜提出)それぞれおおよそ120分の学習時間を確保してください。